ガイディング・プリンシプルズ: 新たに誕生した『伝統』に関するワークブックをみんなで使いこなす

少人数のグループによるディスカッションの議題

伝統 2: 私たちのグループの目的のための最終的権威はただ一つ、グループの良心の中にあらわれる、愛なる神である。私たちのリーダーは奉仕を任されたしもべにすぎず、彼らは決して支配しない。

グループでは、私たちの第一の目的に全力を注ぐ。それは、まだ苦しんでいるアディクトにメッセージを運ぶことだ。そのために、グループのサービス活動ですべきことがいくつか派生する。ミーティングリストの作成や、施設に*NA*の文献を持ち込むことや、ダンスパーティを催すことなどである。このようなことが行われていくことで、私たちの第一の目的は支えられているのだ。*NA*のサービスは何らかのかたちで必ずグループの目的と結びつくため、その方針に変わりはない。私たちのリーダーは支配せず、役目は権限ではないので、役に立つことができるかどうかは周囲の人たちの信頼にかかっているということだ。

議題: グループの良心がしっかり働く過程とは、どういうものだろうか？　サービス機関の意思決定を見守る場合には、どんなことに注意すればいいか？

みなさんの意見を収集するために、この用紙は会場においていくか、あるいは写メールにして送っていただくようにお願いします。お疲れさまでした。